

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	780-1404
平成18年度部名	環境保全部	課名	津久井環境課	課長名	柳川 宝
平成19年度部名	環境保全部	課名	津久井環境課	課長名	江成 博
事務事業名	環境指導啓発費				
予算上の事務事業名	環境指導啓発費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくれます				
基本施策名	第1節 地球環境の保全に向けた取り組み				
施策名	第3施策 公害防止対策の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	大気汚染防止法、水質汚濁防止法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例、相模原市環境保全に関する条例等				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	指導・規制・許認可	▼	5 事業開始年度	平成18年度	▼
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
生活を取り巻くさまざまな公害の防止対策の推進に取り組み、市民の良好な生活環境を保持する。			(2) 対象(誰、何)		
			市民 全般工場事業所からの公害		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> ・公害苦情相談に係る調査及び指導21件 ・特定工場指定事業所への立入269件 総事業費 74千円 旅費 35千円 需用費 39千円					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	他の自治体も同様の目的、方法で実施している。				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費			74	181	181
一般財源			74	181	181
受益者負担金			0	0	0
その他の特定財源			0	0	0
人件費の合計			0	0	0
事業コスト合計			74	181	181
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	環境指導啓発			対象名称 と単位	指定事業所等(事業 所)立入調査件数
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)			74	181	181
対 象 数			269	101	101
単位あたり経費(円)			275	1,792	1,792
前 年 度 比				6.51	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	立入調査件数	指標式と指標の説明	立入調査を実施し、法令順守を促す（届出不備、規制基準違反を是正し、指導件数を減少させる）ことで環境負荷の低減を図る。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			269.0		
目標			269.0	101.0	101.0
目標達成度（％）			100.0	0.0	0.0
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	届出指導件数中の申請済件数	指標式と指標の説明	申請済件数/届出指導件数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			63		
目標			63	70	70
目標達成度（％）			100.0	0.0	0.0
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		津久井・相模湖・藤野町内について、平成18年度は津久井・相模湖町の事業所等の立入調査を行っており、平成19年度は藤野町中心に行う予定であり、環境法令順守の指導啓発を進める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
定期的に立入調査を行い、指導及び啓発を行う。			環境法令未申請事業所への立入。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			